

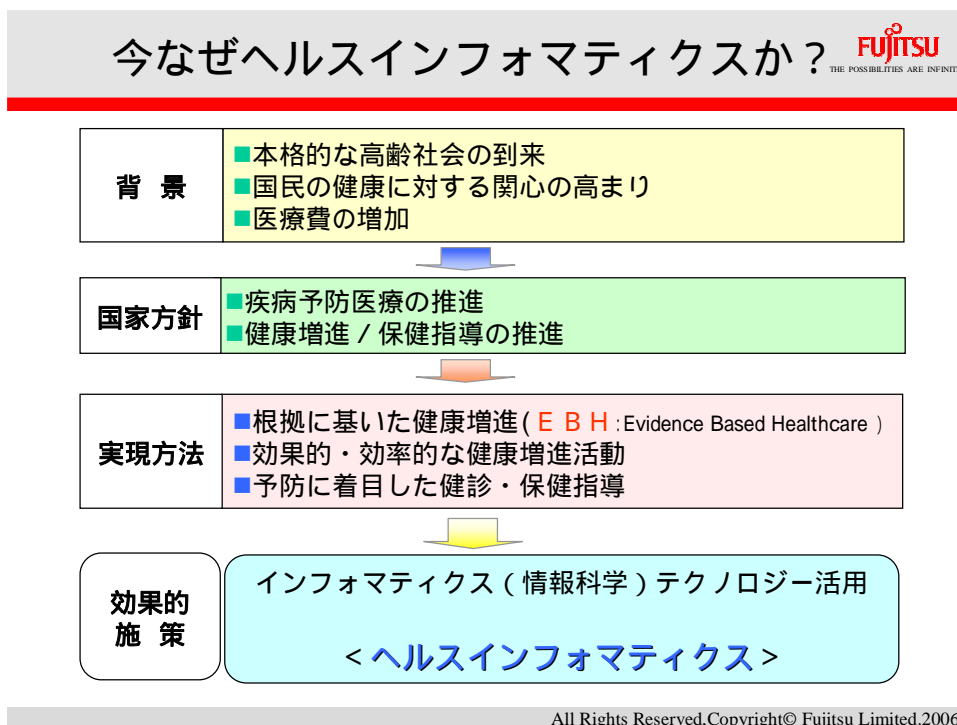
健康情報 SIG 中間報告

2006年 5月 25日

「健康情報 SIG」取りまとめ担当 鈴木 淳夫

1.背景

本格的な高齢社会が到来し、医療費の急激な増加が予想されるなか、国民の健康に対する関心が高まり、疾病予防医療の推進、健康増進/保健指導の推進が国家方針として挙げられている。これを効率的かつ効果的に実行するためには、インフォマティクス(情報科学)に基づくEBHデータベース(Evidence Based Healthcare DataBase)の構築が必要と考える。



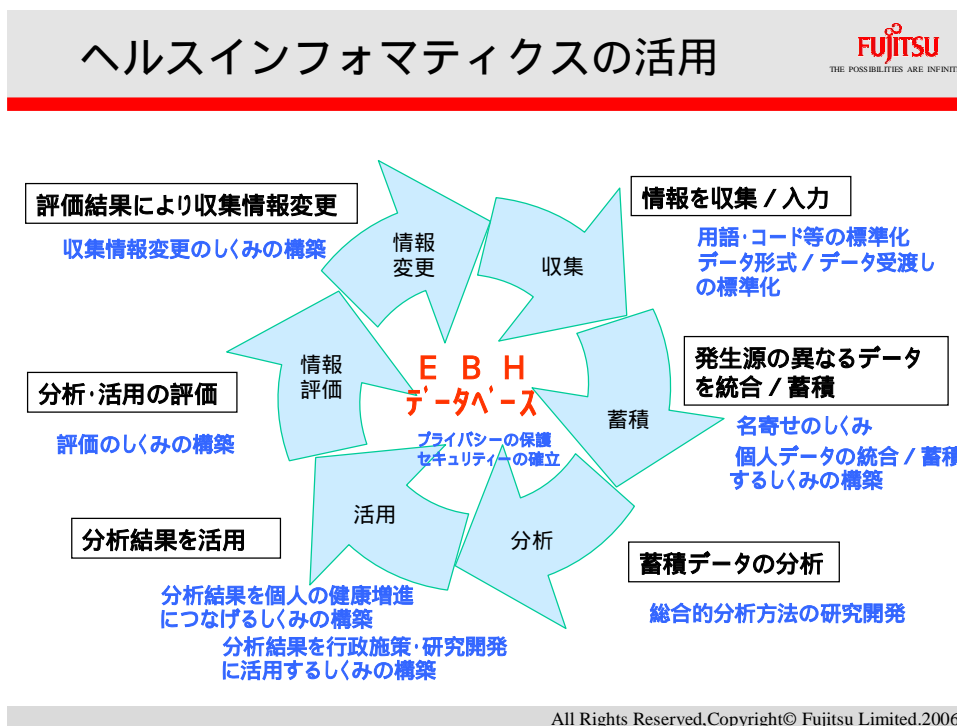
2.現状

人は、誕生、入学、就労、退職というライフサイクルをおくるなか、健康診断、医療行為、介護行為を受け、その都度様々な情報が発生しているが、その情報は散在しており、十分に活用されていないのが現状である。

3.手法

これらの情報を効率的に収集し、データベースとして蓄積し、そして分析、活用、評価、収集情報の追加・変更といった一連のPDCAサイクルを推進する必要がある。情報の収集・蓄積も重要であるが、集まった情報を如何に個人や行政に役立つEBHデータベースに出来るかが一番のポイントである。ここで必要となるのがヘルスインフォマティクス(健康情報科学)である。

このEBHデータベース基盤を確立するためには、プライバシーの保護、セキュリティシステムの確立はもとより、収集情報の用語・コードやデータ形式等の標準化、個人を意識したデータの統合・蓄積の仕組み構築、蓄積された情報の分析手法の研究、その分析結果を個人の健康増進に活用する仕組みの構築及び活用結果の評価等の課題がある。



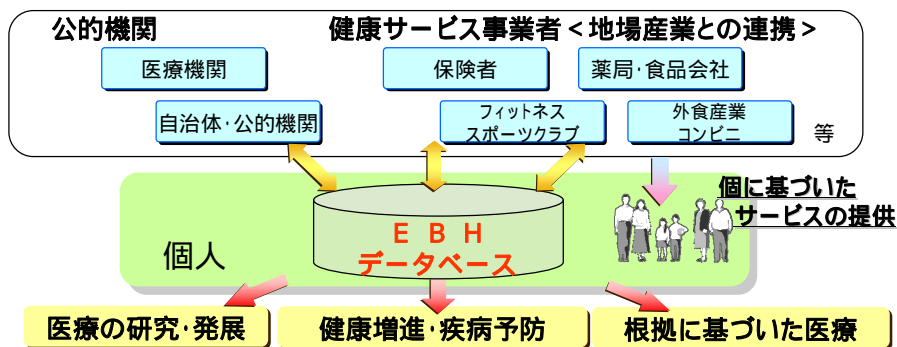
4. 実現

これらの課題が解決し、構築されたEBHデータベースを国民の共通の財産とすることにより、公共機関による公衆衛生の向上と健康サービス産業（保険者、食品会社、薬局、スポーツクラブ、フィットネスクラブ、コンビニ、外食産業等）を介した個に基づいたサービスの提供により、「生涯はつらつ生活」社会が実現できると考える。

科学的根拠に基づいた健康増進(EBH)の実現

個人個人の目標や状態に合った最適なサービスの提供

個人の生涯に渡った健康情報の蓄積と活用



All Rights Reserved, Copyright© Fujitsu Limited. 2006

5. 課題

健康情報標準化検討の前に、そもそも健康情報の標準とは何か？という問題を解決する必要がある。また、健康であることを示す具体的な指標（身体的、精神的、経済的）及びその評価・測定法についてエビデンスに基いたものは多くない。効果的な健康指導法なども確立されているとは言えず、研究が緒についたばかりである。

健康情報 SIG としてはこれらの動向を踏まえつつ、エビデンスに基いた標準化対象の見極め作業を継続して行きたい。

6. 参考「最近の健康情報に関する政府政策動向資料」

【医療制度改革大綱】より

- ・ 医療保険者に対する健康・保健事業義務付け
- ・ 生活習慣病有病者・予備群の減少を数値目標化
- ・ 中長期的な医療費の適正化
- ・ 内臓脂肪症候群（メタボリックシンドローム）に着目した健診・保健指導 等

<http://www.mhlw.go.jp/bunya/shakaihoshoh/iryouseido01/index.html>

【厚生労働省健康局検討会】

標準的な健診・保健指導の在り方に関する検討会

「標準的な健診・保健指導プログラム」の策定

<http://www.mhlw.go.jp/shingi/2006/02/s0215-4.html>

【生活習慣病健診・保健指導に関する厚生労働科学研究概要】

平成16年度

「最新の科学的知見に基づいた保健事業に係る調査研究」

・主任研究者：聖路可国際病院 院長 福井次矢

「新しい検診モデルの構築と検診能率の向上に関する研究」

・主任研究者：東京大学健康医学創造講座 林同文

平成17年度～平成19年度

「疾病予防サービスの制度に関する研究」

・主任研究者：東京大学大学院医学系研究科教授 永井良三

「疾病予防サービスに係るエビデンスの構築に関する研究」

・主任研究者：滋賀医科大学保健福祉医学講座 上島弘嗣

「健康診査の精度管理に関する研究」

・主任研究者：国際医療福祉大学教授 渡辺清明

「健康診査の効率的なプロトコールに関する研究」

・主任研究者：国立保健医療科学院 部長 水嶋春朔

：産業医科大学 教授 松田晋哉

<http://www.mhlw.go.jp/shingi/2005/07/s0725-7.html>

以上

文責：鈴木淳夫（富士通株式会社 ヘルスケアソリューション事業本部）